令和８年度 第１回七尾市健康福祉審議会保健医療分科会

次　　第

日　時　令和８年７月６日（月）
　　午後２時００分～
場　所　パトリア３階　会議室４

１．開　会

２．説明・報告事項
（１）七尾市健康福祉審議会保健医療分科会について
（２）七尾市健康増進計画（第三次）の概要について
（３）令和７年度の実績及び令和８年度の主な取り組みについて
（４）今年度の保健医療分科会の日程について

３．その他

４．閉　会

七尾市健康福祉審議会　保健医療分科会委員

◎会長　○副会長

No.	氏　　名	委 員 の 所 属	摘　　要
1	おかはら　ひでかつ 岡原　秀克	七尾市町会連合会	
2	きたむら　まさる ◎北村　勝	(一社) 七尾市医師会	審議会委員
3	きのした　ひであき 木下　英明	市民代表	
4	こうら　きみこ 小浦　貴美子	七尾市学校教育研究会養護教員研究会	
5	さとう　けんじ 佐藤　謙至	七尾市立小中学校校長会	
6	しまだ　のりつぐ ○島田　典嗣	石川県歯科医師会七尾歯科医師会	審議会委員
7	たけもと　ひとし 竹本　等	(公社)石川県薬剤師会七尾鹿島支部	
8	たなか　みちこ 田中　美智子	七尾商工会議所	
9	ひらた　なおみ 平田　直美	石川県能登中部保健福祉センター	
10	まき　さきえ 巻　砂紀恵	七尾市食生活改善推進協議会	
11	まつもと　なおよ 松本　直代	市民代表	
12	むらなか　みやこ 村中　美也子	七尾市保育士会	
13	やまざき　しげや 山﨑　茂彌	七尾市健康まちづくり推進連絡会	審議会委員

※七尾市健康福祉審議会規則第7条により設置（運用は要綱による）
※任期：令和6年4月1日～令和9年3月31日

２　説明・報告事項

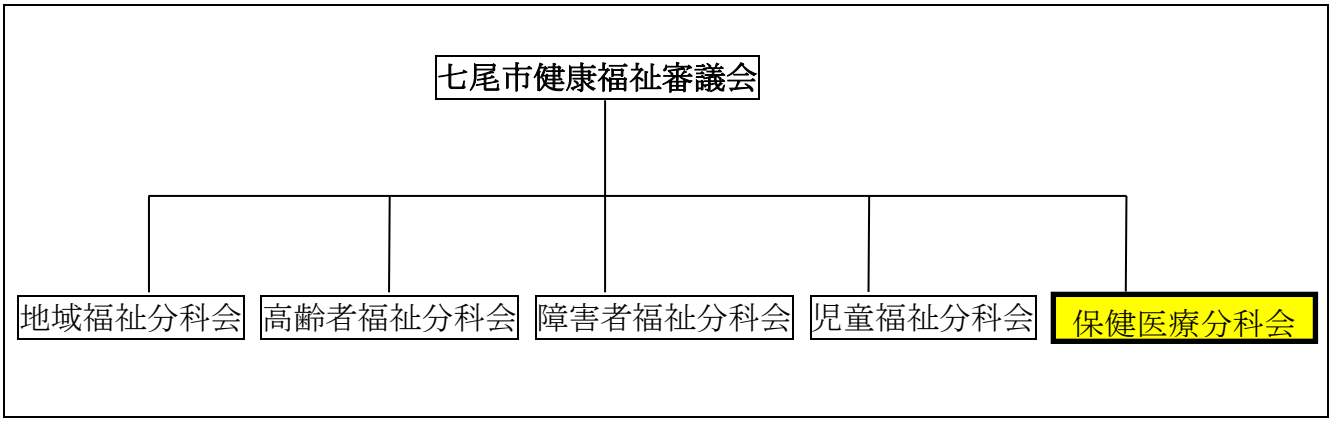
（１）七尾市健康福祉審議会保健医療分科会について

これからの健康福祉施策は、幅広い視点で推進することが重要です。そこで、諸計画の策定・進行管理、保健福祉に関する重要事項について調査、審議、評価を行う市長の諮問機関として七尾市健康福祉審議会（以下審議会という。）が設置されています。

審議会の委員は、専門家や有識者のほか市民協働の立場から幅広い市民の参画により構成されています。また、審議会の中には５つの分科会が構成されています。審議会の委員はいずれかの分科会に属し、審議会と分科会が連携しながら運営ができるように組み立てられています。

保健医療分科会では「健康増進計画」「その他保健医療の重要事項」に関する審議を行い、審議会へその意見などを提言することとしています。

○七尾市健康福祉審議会構成　（審議会・分科会委員数は各１５名以内）



○委員の任期

３年（令和６年４月１日～令和９年３月３１日）

○審議会・分科会の開催予定

審議会は年２～３回程度、令和８年度は保健医療分科会 年２回開催予定。

健康福祉審議会及び各分科会の審議内容

健康福祉審議会

保健福祉に関する諸計画の策定や進行管理、保健福祉に関する重要事項及び福祉施設等整備計画に関する事項を審議・答申する。

地域福祉分科会

地域福祉計画、地域福祉の重要事項に関することを審議する。

高齢者福祉分科会

老人福祉計画、介護保険事業計画、介護保険料、その他高齢者福祉の重要事項に関する事項を審議する。

障害者福祉分科会

障害者計画、障害者福祉計画、その他障害者福祉の重要事項に関することを審議する。

児童福祉分科会

子ども・子育て支援事業計画、その他児童福祉の重要事項に関することを審議する。

保健医療分科会

健康増進計画、その他保健医療の重要事項に関することを審議する。

（２）令和７年度の実績及び令和８年度の主な取り組みについて

Ⅰ　個人の行動と健康状態の改善

［１］生活習慣の改善

❶栄養・食生活

【妊娠期】

■実績

・すべての妊婦に対して、妊娠届出の面接時点から、妊婦や家族の状況を把握し、個々に応じた相談を行った。健診結果に応じ、医療機関との連携を図り、糖尿病をはじめとする生活習慣病予防に向け、継続した保健指導を実施した。

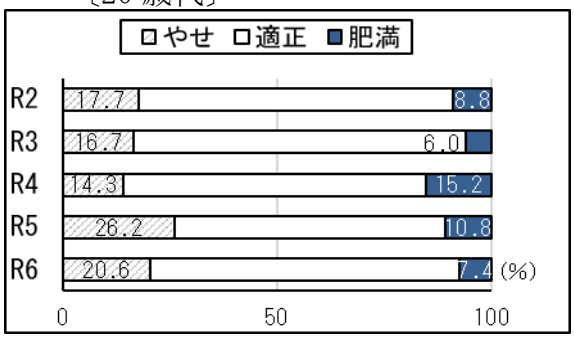
・妊婦健康診査受診者の妊娠前の体格をみると、ここ近年 20 歳代では「やせ」、30 歳代では「肥満」の割合がそれぞれ約２割以上であり、20 歳代、30 歳代ともに適正体重でない人の割合が増加傾向にある。

・低出生体重児の割合は、令和２年をピークに令和４年まで減少していたが、令和６年は、令和２年度並みの 11.2%であった。低出生体重児の出生の背景を見ると、妊娠前の母の体格や妊娠中の体重の増加不足等、母体の体重コントロール不良がみられた。

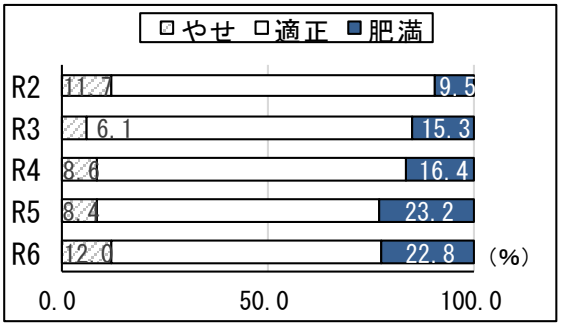
事業名		令和５年度	令和６年度	令和７年度
妊娠届(妊婦数)	届出数	175 件	173 件	152 件
パパママ教室	対象者 参加者 参加率	163 組 44 組 27.0%	178 組 42 組 23.6%	122 組 52 組 42.6%
妊婦に対する精密健康診査（糖尿病疑い）	対象者 受診者 受診率 保健指導率	42 人 40 人 95.2% 95.0% （指導者数 38 人/受診者数 40 人）	35 人 35 人 100% 100% （指導者数 35 人/受診者数 35 人）	52 人 50 人 96.2% 78.0% （指導者数 39 人/受診者数 50 人）

○妊娠前の母の体格（20 歳代、30 歳代）

〔20 歳代〕

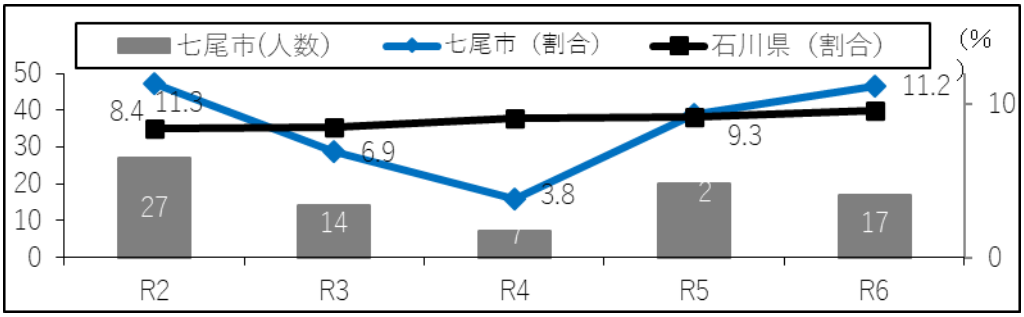


〔30 歳代〕



（資料：七尾市妊婦一般健康診査初回集計結果）

○低出生体重児の年次推移



（資料：石川県衛生統計報）

■今年度の取り組み

・妊娠中の母体の適正な体重コントロールのため、妊娠届出時の面接やパパママ教室の参加時などの機会を通して、正しい知識の普及や個人に応じた情報提供を行う。また、「やせ」や「肥満」の人には、次の妊娠や生活習慣病予防に向けた産後の保健指導に取り組む。

【幼児】

■実績

・発達の節目で乳幼児健診や教室を実施し、年齢に応じた食形態や適量、朝食の大切さを伝え、乳幼児の健康の保持に向けた支援を行った。

・１歳６か月児及び３歳児健康診査では、肥満傾向の児に対して管理栄養士が個々に応じた栄養指導を実施し、その後も２歳児歯科健康診査や電話で継続的に支援した。

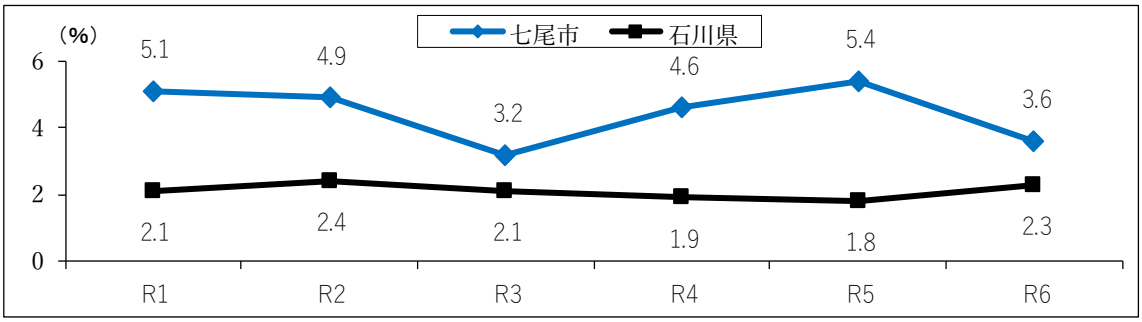
・肥満傾向の児の割合は令和３年度以降増加傾向であったが、令和６年度は減少傾向であった。

・毎日、朝食をとる子どもの割合は年度によってばらつきがあるものの、令和６年度は県平均並みであった。

事業名		令和５年度	令和６年度	令和７年度
こんにちは赤ちゃん訪問 (乳児家庭全戸訪問)	対象者 実施数 実施率	215 人 214 人 99.5%	159 人 158 人 99.4%	156 人 155 人 99.4%
3～4か月児健康診査	対象者 受診者 受診率	228 人 228 人 100%	152 人 152 人 100%	157 人 157 人 100%
のびのび教室 (7か月児相談)	対象者 参加者 参加率	217 人 93 人 42.9%	162 人 92 人 56.8%	159 人 108 人 67.9%
もぐもぐ教室 （１０か月児相談）	対象者 参加者 参加率	202 人 73 人 36.1%	172 人 85 人 49.4%	163 人 101 人 62.0%
すくすく相談 （育児相談）	実人数 延人数	75 人 144 人	52 人 100 人	64 人 113 人

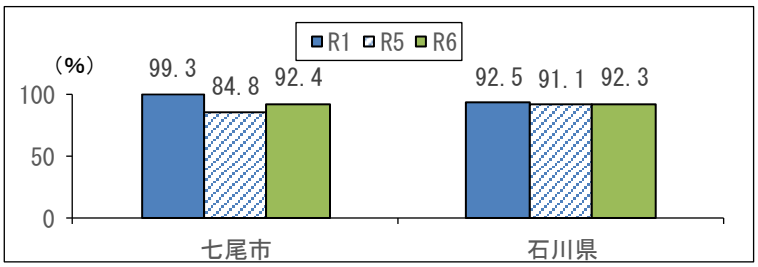
１歳６か月児健康診査	対象者 参加者 参加率	220 人 218 人 99.1%	198 人 197 人 99.5%	156 人 152 人 97.4%
２歳児歯科健診	対象者 参加者 参加率	153 人 77 人 50.3%	220 人 124 人 56.4%	190 人 111 人 58.4%
３歳児健康診査	対象者 参加者 参加率	230 人 223 人 97.0%	203 人 197 人 97.0%	196 人 195 人 99.5%

○３歳児の肥満割合の年次推移



（資料：石川県母子保健の主要指標）

○３歳児の毎日朝食をとる子どもの割合



（資料：石川県母子保健の主要指標）

■今年度の取り組み

・乳幼児健診や教室で、発育発達を促す生活リズムや、年齢に応じた食べる力の育て方、食事の適量などの情報提供を継続し、成長過程の見通しをもてるよう引き続き支援する。

・幼児期の肥満が成人期の肥満へつながりやすいことを念頭に、肥満傾向の児に対して認定こども園と連携し、個別指導を継続する。

・園長会議等において課題の共有を図るとともに、情報提供や意識啓発の機会の確保に努める。

❷休養・睡眠・こころの健康

■実績

○若年層のこころの健康づくり事業（思春期保健事業を含む）

年度	令和６年度	令和７年度
実施状況	６校　849 人	６校　351 人
	① 田鶴浜小学校　7 月 16 日 （4～6 年及び保護者 82 人） ② 天神山小学校　7 月 18 日 （6 年生 38 人） ③ 中島小学校　11 月 1 日 （5・6 年及び保護者 103 人） ④ 能登島小学校　11 月 1 日 （6 年及び保護者 22 人） ⑤ 七尾中学校　9 月 12 日、17 日 11 月 22 日 （全学年 434 人） ⑥ 能登香島中学校　12 月 20 日 （全学年 170 人）	① 中島中学校　6 月 20 日 （全学年　70 人） ② 石崎小学校　7 月 10 日 （5,6 年生 39 人） ③ 天神山小学校　7 月 14 日 （6 年生 37 人） ④ 和倉小学校　11 月 17 日 （5,6 年 44 人） ⑤ 七尾中学校　12 月 1 日 （1 年生 133 人） ⑥ 東湊小学校　2 月 16 日 （5 年生　28 人）

○相談支援のためのゲートキーパー研修

実施日	対象	参加人数
R7.6.8	メンタルヘルスボランティア花の会	5 人
R7.8.27	健康まちづくり推進員	172 人
R7.9.14	教職員	14 人

※ゲートキーパーとは、自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応（悩んでいる身近な人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る）を図ることができる人のことをいう。

○【こころの健康相談実績】

	令和５年度		令和６年度		令和７年度	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
電話	14（9）	122	17（11）	113	10（7）	66
メール	0（0）	0	0（0）	0	0（0）	0
面接	10（7）	18	7（4）	18	7（7）	19
訪問	4（4）	5	6（5）	9	1（1）	2
合計	28(20)	145	25(20)	140	18（15）	87

※（　）カッコ内：実人数のうち新規人数

■今年度の取り組み

○こころの健康づくりに関する普及啓発の推進及び相談支援の充実

〔重点事業〕

・心理士、助産師によるこころの健康づくり教室を実施し、児童・生徒が、自殺予防に向け、困難な事態、強い心理的負担を受けた場合等に適切な対処の仕方を身につけられるよう啓発する。

・相談窓口一覧をホームページや関係機関等（市内医療機関、薬局、公共機関、商工会議所他）に周知する。

・七尾市自殺対策計画第３次（計画期間：令和６年度～令和１１年度）と整合性を図り、庁内連携を密にして、被災者を含めた相談者に即時対応できるように支援する。

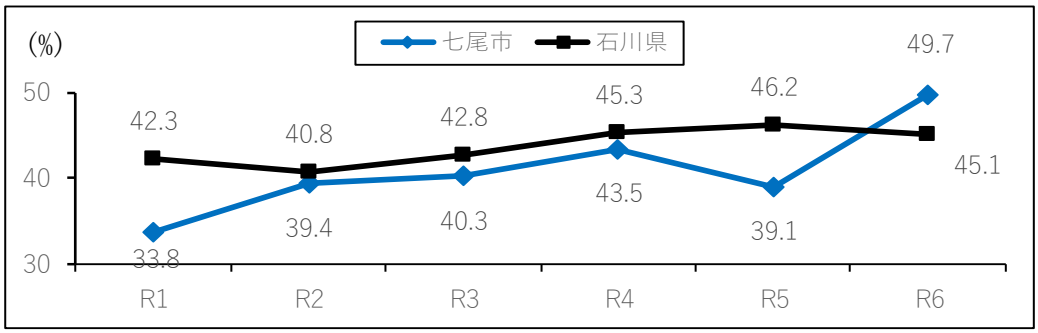
❸歯・口腔の健康

１．妊婦歯科健診

■実績

妊婦歯科健診の受診率は、令和６年度 49.7%で、県平均を上回っている。受診勧奨として、パパママ教室の案内（全員）にチラシの同封、「ななお子育てアプリ（母子モ）」にて、妊婦歯科健診の受診勧奨コメントを配信した。また、妊娠 5～7 か月アンケート送付時やパパママ教室で未受診者に再度、受診勧奨を行った。

○妊婦歯科健診受診率の年次推移



（資料：石川県母子保健の主要指標）

■今年度の取り組み

・妊娠期からの定期的な歯科健診の受診を推進するため、昨年度に引き続き、様々な機会を通じて受診勧奨を行う。

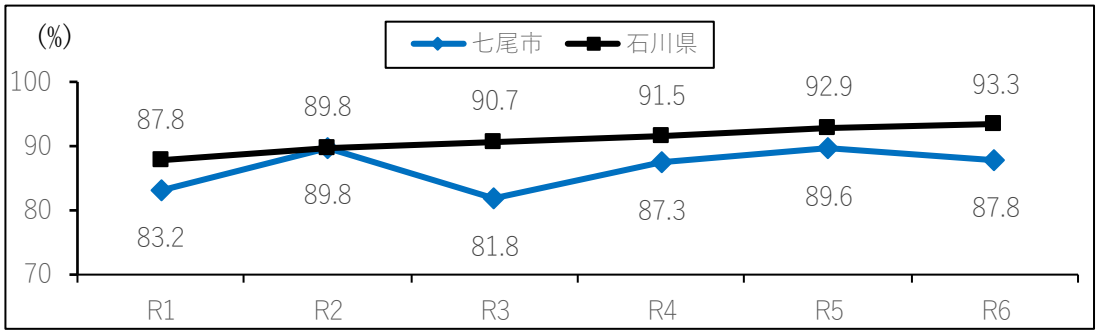
２．幼児におけるむし歯

■実績

３歳児健康診査におけるむし歯のない子どもの割合は、令和６年度 87.8%で、県平均よりも低く推移している。

歯の萌出し始める７か月児教室をはじめ、１０か月児教室、1 歳 6 か月児健診、2 歳児歯科健診で、保護者に対して仕上げみがきの方法やおやつの選び方等の情報提供を実施した。

○３歳児でむし歯のない児の割合の年次推移



（資料：石川県母子保健の主要指標）

■今年度の取り組み
・むし歯のある児の生活背景を健診時のアンケート等から把握し、各教室や健診でのむし歯予防の指導内容に反映する。
・2 歳前後で実施していた 2 歳児歯科健診を 2 歳半頃へと変更し、1 歳 6 か月児健診及び 3 歳児健診（3 歳 6 か月）と併せて、定期的な歯科健診の機会を確保する。
・子育て支援課、認定こども園と連携し、年中児、年長児を対象にフッ化物洗口事業を実施する。（令和 8 年度：6 園/19 園）

３．成人の歯科健診

■実績

歯科健康フェスティバルやケーブルテレビ、広報等で、歯科疾患の予防や知識について、普及啓発を行った。

〇成人の歯科健診（40 歳、50 歳、60 歳、70 歳）及び後期高齢者歯科健診（76 歳）の受診率

	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７
受診率（40 歳、50 歳、60 歳、70 歳）	3.5%	3.2%	3.0%
〈参考〉 受診率（40 歳、50 歳、60 歳、70 歳、76 歳）	2.6%	2.6%	2.3%

■今年度の取り組み
・歯科保健の意識の向上を高めるために、ケーブルテレビや地区の健康教室等の各機会を活用し、普及啓発を行う。
・歯科健診の案内をこれまでがん検診等の案内に同封していた方法から、歯科健診単独で案内する方法に変更する。
・75 歳以上の後期高齢者で口腔機能低下者（糖尿病を有し、口腔機能質問票により抽出）には、口腔機能改善に向けた指導を行う。

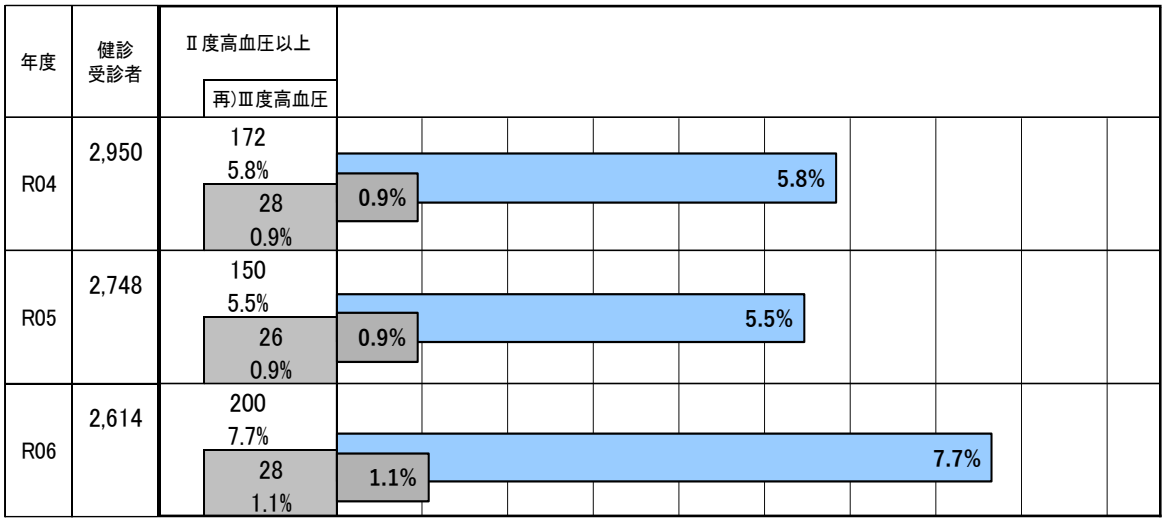
［２］生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底

❶循環器病

■実績

１）高血圧

○Ⅱ度高血圧(160/100)以上者数と割合



（七尾市国保特定健診）

○Ⅱ度高血圧以上で未治療者の指導・受診状況（令和８年３月末現在）

	対象者数	指導者数	指導率	医療機関受診	
				人数	割合
Ⅱ度高血圧（160／100）以上	81 人	65 人	80.2%	31 人	38.3%
Ⅲ度高血圧（180／110）以上	18 人	14 人	77.8%	8 人	44.0%
合計	99 人	79 人	79.8%	39 人	39.4%

２）メタボリックシンドローム該当

○メタボ該当者数と割合

	令和６年度			令和７年度（３月末現在）		
	人数	男性	女性	人数	男性	女性
特定健診受診者数	2,614 人	1,092 人	1,522 人	2,606 人	1,099 人	1,507 人
メタボ該当者数	697 人	455 人	242 人	662 人	429 人	233 人
メタボ該当者割合	26.7%	41.7%	15.9%	25.4%	39.0%	15.5%
(参考)石川県	22.9%	36.4%	13.4%	－	－	－

※特定健康診査の対象者は、七尾市の国民健康保険に加入している 40～74 歳の方である。

※メタボ該当者（メタボリックシンドローム該当者）とは、腹囲に加え、脂質異常、血圧高値、高血糖のうち２つ以上が該当する方である。

○メタボ該当者の年代別指導状況

	令和７年度（令和８年３月末現在）			
	メタボ該当者数	指導対象者数	指導者数	指導率
40 歳代	22 人	8 人	7 人	87.5%
50 歳代	48 人	21 人	14 人	66.7%
60 歳代	246 人	71 人	53 人	74.6%
70～74 歳	403 人	97 人	87 人	89.7%
合計	719 人	197 人	161 人	81.7%

３）特定健康診査

○特定健康診査受診率の推移※個別健診：6 月～11 月、24 医療機関　※集団健診：6 月～11 月、4 施設 31 日間

年度	令和５年度（実績）	令和６年度（実績）	令和７年度（R8.5 月末現在中間値）
対象者数	7,229 人	6,742 人	6,467 人
受診者数	2,748 人	2,614 人	2,824 人
受診率	38.0%	38.8%	40.1%

○受診勧奨状況　※令和８年３月末現在

取り組み内容	方法	人数等	うち受診者
夜間電話勧奨（国保連合会未受診者対策事業）	電話	600	185
【R7 新規事業】 ダイレクトメールでの受診勧奨 （ナッジ理論と AI による対象者抽出）	圧着ハガキ	5,071	1,106
診療における検査データの活用 （受療状況調査）	封書	707	103
事業主健診データ提供	封書	25 事業所	11
未受診者訪問	訪問等	112	78
合計（実人数）		5,175	1,196

＜参考：ダイレクトメールでの受診勧奨（一部抜粋）＞

※これまでの健診受診歴や受療状況などを元に、AI による対象者抽出し、ナッジ理論（行動経済学）を用いた個別通知（７種類）を行った。

【啓発活動】
・医師会への協力依頼：医師による受診勧奨
・健康まちづくり推進員活動による受診勧奨
（受診勧奨用チラシの投函やポスターの掲示、地区での教室等での受診勧奨）
・広報５月号から 11 月号まで日程表を掲載、10 月号は特集ページ「家庭血圧のすすめ」を掲載。

■今年度の取り組み
〇循環器疾患の予防に関する正しい知識の普及啓発
・健康まちづくり推進連絡会と協力し、地区での生活習慣病予防教室を実施する。
〇循環器疾患の重症化予防のための取組み
・Ⅱ度高血圧の割合は、震災の影響もあり、令和６年度は増加した。高血圧は、脳心血管病の発症及び重症化する最大の原因疾患である。令和７年度も引き続きⅡ度高血圧未治療者の保健指導を優先し、受診勧奨を行う。医療機関受診率は約４割と低い状況にある。家庭血圧の結果も踏まえながら必要時、医療につなげていくよう支援する。
・令和６年度は、震災の影響もありメタボ該当者が増加した。令和７年度は令和６年度に比べると減少したが、震災前の割合に戻っていない。そのため、引き続き働き盛りの若年層（40～60 歳代）の保健指導を優先し、メタボの解決を目指す。メタボ該当者の体重増加の背景は、個人により違いはあるが、欠食や間食、夜の飲食等、食の課題がある。自分の健診結果を理解し、問題意識を持ってもらい、食生活改善に向けた継続支援を行っていく。
〇**〔重点事業〕**特定健診受診率向上の推進
・受診につながりやすい対面や電話での勧奨方法と、ダイレクトメールでの勧奨方法を併用して受診勧奨を行っていく。
・ＡＩを使った対象者抽出とナッジ理論を用いたダイレクトメールでの受診勧奨は、特定健診をしばらく受診していなかった人や、生活習慣病に関連した疾患（糖尿病・高血圧・脂質異常症）の定期的な治療をしていない人を健診受診に繋げることができた。一方で定期的に受診している人の特定健診受診率が伸び悩んでいるため、これまでに把握している高血糖をはじめとした重症化予防の対象者への継続受診の促し、および医師会を通して医療機関へ協力を依頼し、治療中の人に対しての受診勧奨も継続する。

❷糖尿病

■実績

１）糖尿病重症化予防

○糖尿病有病者(HbA1c6.5%以上、糖尿病未治療者)　(令和８年３月末現在)

	対象者	指導者数	指導率	医療機関受診	
				人数	割合
6.5～6.9%	79 人	16 人	20.3%	38 人	48.1%
7.0～7.9%	26 人	17 人	65.4%	13 人	50.0%
8%以上	6 人	4 人	80.0%	2 人	33.3%
合計	111 人	37 人	33.3%	53 人	47.7%

※HbA1c は、採血時から過去１～２か月間の平均血糖値を反映し、糖尿病の指標に用いられる。特定健診では、HbA1c6.5%以上は「受診勧奨判定値」となる。

○糖尿病治療中でコントロール不良者　(令和８年３月末現在)

	対象者	指導者数	指導率
HbA1c 7～7.9%	66 人	45 人	68.2%
HbA1c 8%以上	22 人	13 人	59.1%
合計	88 人	58 人	65.9%

■今年度の取り組み

○糖尿病の予防に関する正しい知識の普及啓発

・健康まちづくり推進連絡会と協力し、地区における生活習慣病予防教室の実施、及び医師による糖尿病予防講演会を実施する。

○糖尿病重症化予防のための取り組みの推進

・若年健診の実施、受診勧奨
(20～39 歳国保加入者、社保加入者において、健康診査を受ける機会がない者)

・糖尿病が重症化し合併症を発症するリスクが高い者（HbA1c7%以上の未治療者、治療中断者）には、治療に結び付けることを念頭に保健指導を優先して行う。また、服薬治療につながることで食事療法や運動療法を中断する者には、食生活や運動の重要性等についての保健指導を行う。

・糖尿病治療をしていても血糖コントロール目標が未達成である者の割合は増加しており、医療機関と連携して、コントロール不良者への保健指導を行う。虚血性心疾患、脳血管疾患及び腎不全による人工透析への移行を防止する支援を継続する。

・早期に腎機能低下の有無を確認し、糖尿病性腎症による透析を予防することを目的に、令和８年度から HbA1c の高い者に対し、集団検診で実施される特定健診に一般的な尿検査で陽性にならないもっと初期の「隠れたタンパク尿」を検査する項目（微量アルブミン尿）を追加実施し、併せて保健指導または医療機関への受診を勧めていく。

・また、糖尿病及び予備群を発症する背景に肥満がある方もおり、メタボ改善に向けての支援を継続する。

❸がん

■実績

主に大腸がん検診の受診率向上対策（大腸がん予防講演会、公共トイレでの大腸がん検診受診啓発カードの掲示、市立図書館によるがん予防コーナーの設置等）に努めた。

○４０～６９歳（子宮頸がん２０～６９歳）の受診率

	令和６年度	令和７年度	増減
胃がん検診	12.2%	12.1%	-0.1%
肺がん検診	18.9%	20.5%	+1.6%
大腸がん検診	15.9%	16.6%	+0.7%
乳がん検診	35.4%	35.5%	+0.1%
子宮頸がん検診	38.9%	39.1%	+0.2%

○＜参考＞　全年齢の受診者数及び受診率

		令和５年度	令和６年度	令和７年度
胃がん検診（４０歳以上）	対象者	19,351 人	19,091 人	18,791 人
	受診者	1,825 人	1,697 人	1,639 人
	受診率	9.4%	8.9%	8.7%
肺がん検診（４０歳以上）	対象者	19,351 人	19,091 人	18,791 人
	受診者	2,679 人	2,471 人	2,508 人
	受診率	13.8%	12.9%	13.3%
大腸がん検診（４０歳以上）	対象者	19,351 人	19,091 人	18,791 人
	受診者	2,861 人	2,684 人	2,832 人
	受診率	14.8%	14.1%	15.1%
乳がん検診（４０歳以上）	対象者	11,388 人	11,286 人	11,109 人
	受診者	990 人	836 人	988 人
	受診率	16.8%	16.2%	16.4%
子宮頸がん検診（２０歳以上）	対象者	12,055 人	11,902 人	11,684 人
	受診者	883 人	811 人	849 人
	受診率	14.4%	14.2%	14.2%

※検診受診間隔：胃がん検診、大腸がん検診、肺がん検診は年に１回
子宮頸がん検診、乳がん検診は２年に１回

※子宮頸がん、乳がん検診受診率算出計算式：
（前年度受診者数＋今年度受診者数-２年連続受診者数）/（今年度対象者数）×100

■今年度の取り組み

［実施期間　令和８年６月～１１月］

○集団検診会場　４会場３０日間

○個別検診（子宮頸がん３医療機関、大腸がん１８医療機関）

○〔新規〕個別検診では、医療機関での大腸がん検診を実施する。

○〔新規〕集団検診では、肺がん検診低線量ＣＴ検査を取り入れ、がんの早期発見、早期治療につなげる。

○受診率向上対策及びがんの早期発見、早期治療に努めるために、下記のとおり、実施する。

・個別はがきによる検診受診勧奨、精密検査未受診者への勧奨

・健康まちづくり推進連絡会や医療機関、事業主、商工会、生命保険会社等と連携し、がん予防の普及啓発を図り、検診受診率向上につなげる。

・啓発活動の一環として、市立図書館での普及啓発コーナーを設け、受診率向上につなげる。

［３］生活機能の維持・向上

■実績

長寿健診の結果、糖尿病等の未治療者に対する生活習慣改善の支援を実施した。

○生活習慣病の重症化予防の個別支援

内容	項目	令和５年度	令和６年度	令和７年度
生活習慣病の重症化予防（個別保健指導）	対象者数	77人	45人	44人
	実施者数	50人	35人	40人

○地域におけるフレイル予防の啓発や取り組みの推進

（高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の取り組みとして、高齢者支援課・健康推進課で実施）

内容	項目	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	実施圏域数	３圏域	６圏域	４圏域
医療専門職によるフレイルの早期発見・早期対応(集団健康教育・健康相談)	実施回数	27回	15回	14回
	実人数	223人	140人	114人
	延べ人数	283人	216人	271人

○健康まちづくり推進連絡会による健康教育

内容	項目	令和５年度	令和６年度	令和７年度
フレイル予防（教室・体操等）	回数	143回	189回	196回
	人数	2,650人	4,085人	3,512人

■今年度の取り組み

〇フレイル予防や認知機能低下予防に関する知識の普及

・生活習慣病（糖尿病、高血圧等）と関連する認知症、骨折等の予防のために、長寿健診（後期高齢者健康診査）の結果、糖尿病や高血圧等の未治療者を対象とした個別支援を実施する。

・関係課、関係団体等と連携し、フレイル予防等に関する知識の普及を実施する。

Ⅱ　健康づくりのための環境整備

（１）健康づくり活動支援

七尾市健康まちづくり推進連絡会と連携した事業の実施

■実績

事業内容	令和６年度		令和７年度	
	回数	人数	回数	人数
生活習慣病予防の取り組み	215 回	6,146 人	223 回	5,455 人

（２）関係機関・関係団体との連携・協働

学校やこども園等の関係機関と連携し、生活習慣病の予防と健康に関する正しい知識の普及啓発を行った。

■実績

①関係団体　※事業主出前健康講座、市政講座分を掲載

団体	人数	内　容
徳寺仏教婦人会	15 人	生活習慣病予防
城山ひまわり会	17 人	
国土交通省北陸地方整備局能登復興事務所	12 人	

②学校

〔生活習慣病予防教室〕　６校３２２人

学校名	テーマ	講師
①　小丸山小学校　6 月 10 日 （6 年生　66 人）	「朝食から健康な 1 日の生活を」	保健師
②　山王小学校　　7 月 4 日 （3 年生　59 人）	「朝食とおやつのとりかた」	管理栄養士
③　能登島小学校　7 月 9 日 （4～6 年生　43 人）	「健康な 1 日の生活を」	保健師
④　田鶴浜小学校　7 月 11 日 （5・6 年生　44 人）	「健康な 1 日の生活を」	保健師
⑤朝日小学校　　10 月 17 日 （5 年生　25 人）	「バランスのとれた食事で健康な身体をつくろう」	保健師
⑥中島小学校　　11 月 4 日 （5.6 年生、保護者 85 人）	「健康な 1 日の生活を」	保健師

〔こころの健康づくり教室等〕　７回実施

学校名等	講師
①衛生推進連絡協議会に対するメンタルヘルス（健康教育）の実施	心理士
②中島　中学校　　6 月 20 日（全学年 70 人）	助産師
③石崎　小学校　　7 月 10 日（5,6 年生 39 人）	心理士
④天神山小学校　　7 月 14 日（6 年生 37 人）	助産師
⑤和倉　小学校　11 月 17 日（5,6 年生 44 人）	心理士
⑥七尾　中学校　12 月　1 日（1 年生 133 人）	助産師
⑦東湊　小学校　　2 月 16 日（5 年生 28 人）	心理士

③認定こども園

・乳幼児健診後、食事指導が必要な児の保護者に園と連携し、個別指導を実施し、児の生活リズム等に関するデータの情報提供等を行ない、健やかな成長を促す支援をした。

（３）デジタル技術を活用した健康づくりの環境整備

■実績

・ホームページやＬＩＮＥ等を活用した健康づくりに関する普及啓発を行った。

・七尾市国保特定健診の受診勧奨において人工知能（ＡＩ）を活用した取り組みを行った。

・各種届出（低出生体重児、妊婦のための支援給付金、プレ妊活健診助成）、事前アンケート（妊娠届出、妊娠 7～8 か月、乳幼児健康診査）について電子申請を開始した。

・「ななお子育てアプリ（母子モ）」を経由して、母子健康手帳交付の来所予約を可能とした。各種教室の事後アンケートは、アプリにて回答できる体制となった。

■今年度の取り組み

・各関係機関等と連携した健康づくりを推進し、デジタル技術を活用した健康づくりの環境整備に努める。

・母子保健事業（各種教室等）の予約が「ななお子育てアプリ（母子モ）」上で、24 時間いつでもできるようになった。

３　その他

（１）令和８年度における震災後の健康推進課での取り組みについて

■健康増進関係

〇がん検診・特定健診、長寿健診については、県内の市外避難者に対して、避難先市町で受診ができるように対応している。

〇仮設住宅の入居者等を対象に、食生活の改善や栄養バランスの摂取等を目的とした栄養教室を開催する。

〇歯と口腔の健康づくりのために、歯科医師等による健康相談を開催する。

■心の健康関係

〇心の相談窓口の紹介一覧の周知を各関係機関に配布等を行う。また、心の対処法等について、広報やＬＩＮＥ、ラジオななお等で周知を行う。

〇学校関係者と連携し、児童・生徒には、精神科医や臨床心理士等による心の健康づくりの教室を実施する。

〇県が実施した「石川こころとからだの健康調査」後、状況確認が必要な方に対して、石川県看護協会（保健師）の協力の下、訪問や電話連絡等を行う。

七尾市健康福祉審議会　保健医療分科会事務局職員名簿

	所　　属	職　名	氏　　名
1	健康福祉部　健康推進課	課長	硲　　久　子
2	〃　（母子保健グループ）	補佐兼ＧＬ	岩　本　瑞　世
3	〃　（健康推進グループ）	補佐兼ＧＬ	山　﨑　まり子
4	〃　（母子保健グループ）	主幹	南　　隆　子
5	〃　（母子保健グループ）	主幹	岡　峰　恵理子
6	〃　（健康推進グループ）	主幹	津　田　順　子
7	〃　（健康推進グループ）	専門員	藤　沢　美　里
8	〃　（健康推進グループ）	専門員	鍜　治　真沙代

（事務局）
〒９２６－０８１１
七尾市御祓町１番地　パトリア３階
七尾市健康福祉部健康推進課
ＴＥＬ　５３－３６２３
ＦＡＸ　５３－５９９０